



校訓「進歩(文)」「健康(武)」「協力(道)」

小中連絡協議会 恩師に成長した姿を



1年生の成長ぶりを見守る〇〇校長先生と〇〇先生



6月5日(月)の午後、由利小学校から〇〇〇校長先生と〇〇〇〇先生の2人をお迎えして「小中連絡協議会」を行いました。

この会は小学校時代にお世話になった先生方から、1年生が学習と生活の両面で頑張る姿を見て、感想やアドバイスを頂き、それをこれからの指導に生かすた



発表も頑張れば

めに毎年この時期に行われています。

6校時は「数学」の授業を参観して頂きました。授業は集団の中で、ある人の身長を基準にして、「正負の数」を用いてできるだけ簡単な計算で平均身長を求めるというものでした。1年生は積極的に自分で考えた式を発表したり、友だちの示した式に意見や感想をのべたりしながら、意欲的に授業に取り組む姿を見せてくれました。

また、ペアや小集団になってお互いに意見を交換し合う場面などもあり、大変和やかな雰囲気の中で、明るく元気な表情で熱心に頑張る姿を見て、小学校の先生方も子どもたちの成長ぶりに感心していました。



話し合いも頑張ります

よく「中1ギャップ」という言葉を聞きますが、これは小学生が中1生となった時に、学校生活や授業のやり方が今までとはまったく違うため、新しい環境(学習・生活・人間関係)になじめないことをいいます。由利小・中は、これまで小中連携に色々な機会を捉え取り組んできたこともあり、子どもたちの様子を見ても、比較的スムーズな移行がなされてきているといえます。

今週の金曜日は中学入学後初めての定期テストですが、1年生はしっかりと頑張れると信じています。

〇〇先生からアドバイス 熱中症を防ぐには



〇〇先生からのアドバイス

6月5日（月）の給食の時間、由利小学校の栄養教諭の〇〇〇〇先生から、総体を目前にして健康管理で気を付けることについてお話がありました。

総体は「夏の暑さ」との戦いでもあり、放課後の練習でも「熱中症」が懸念されます。〇〇先生からは実際に熱中症になったらどうなるのか、その予防方法など、食に関する立場で教えて頂きました。

特に、試合中は「自己管理」が大切です。特に3年生にとっては「最後の夏」となります。3年間の総まとめとしてベストを尽くせるように、しっかりと体調を整えて総体に向かいましょう。

〇〇先生のお話

【これからの時期に気をつけたいことは】

今日は、これから暑くなる季節をむかえるにあたって、みなさんに気をつけてもらいたいことをお話したいと思います。

はじめに、こちらを見てください。これは、何を表すグラフか分かりますか？これは、学校生活の中で「熱中症」になった人の人数を表しています。このグラフを見ると、中学1年生で急激に増加しているのが分かりますね。特に、体育などの運動や部活動でスポーツをしている時になりやすく注意が必要です。また、熱中症にかかる人は年々増加していると言われています。

【熱中症になるとどうなるの】

人の体は、約60%が水分です。運動やスポーツなどで大量の汗をかき、体の中の水分が失われると、栄養素や酸素が十分に行き渡らなくなり「熱中症」になりやすくなります。めまい、吐き気、頭痛、足がつるなどの症状があるときは要注意です。

【熱中症にならないためにはどうしたらいいの】

熱中症を予防するためには、「喉が乾く前に」水分を補給することが大切です。普段の水分補給には、普通の水で構いませんが、大量の汗をかく場合には、塩分が入ったスポーツ飲料などを飲みましょう。ただし、紅茶、緑茶、コーヒーといったカフェインを多く含む飲み物は、水分の排泄を促してしまうため、水分補給には適していません。飲みものを選択するときには、十分注意しましょう。

日常生活で水分が不足しがちなのは、「夜寝る前、朝起きた後」「入浴の前後」です。一度にたくさん飲むのではなく、コップ1杯程度の水をこまめに飲むように心がけましょう。

【今日のまとめ】

「水分補給は 早めに こまめに」

給食でも、水分の多い夏野菜や塩分を含む味噌汁などが出ます。夏は食欲がわかないことがあるかもしれませんが、しっかり食べて熱中症を予防しましょう。